



# やまなし

第78号 2011年11月2日(年3回発行)

## 第48回 作業療法全国研修会が山梨県にて開催されました!

実行委員 事務局長 三瀬 和彦

平成23年9月18日(日)19日(月)に晴天広がる山梨の大地で、第48回作業療法全国研修会(山梨)がベルクラシック甲府にて盛大に開催されました。作業療法士、他職種及び一般の方を含め、総勢420名を超えるご参加を頂きました。また、開催にあたり、山梨県ならびに各関連団体、各病院・施設の皆様、山梨県作業療法士会会員の皆様には多大なるご理解・ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

この日本作業療法士協会が主催する作業療法全国研修会は、「①作業療法の普及と啓発②会員による作業療法の知識と技術の研鑽できる機会③協会の方針を深く理解できる機会④一般市民や他職種には公開講座を通じて、作業療法を知る機会を提供する」といった目的にて、東日本地域・西日本地域で毎年2回行われております。皆様もご周知の通り、平成23年3月11日に東日本大震災という未曾有の出来事がありました。被災された方々を考慮し、開催の検討がなされましたが、現在は日本全体が復興に向けて様々な活動がなされており、私たちができることは作業療法を追求することであると考え、開催する方針を固めました。日本作業療法士協会教育部研修運営委員の方々と山梨県作業療法士会運営スタッフが密に連携し合い、準備を進め開催に至りました。

今回のテーマは「作業は人を元気にする～作業療法のチカラ～」でした。まさしく作業療法の核となる「作業」に対し、様々な分野における講師の先生方が築いてきた内容をご講演頂きました。第2代日本作業療法士協会会長である矢谷令子先生に特別講演をして頂き、事前アンケートから当日は参加者からの意見を重視し、私たちが今後も作業療法を展開していく為に重要なものを熱く伝えて頂いたように感じます。公開講座では、斎藤正身先生からは介護報酬・診療報酬改定に向けて私たちができることを提案して頂き、村井千賀先生には作業がいかにかに生きる上で必要であるかを伝えて頂きました。研修会に参加された皆様は、テーマに掲げられた「元気」を頂き、作業療法の可能性や今後の展開が明確になったのではないのでしょうか?本当に講師の先生方から貴重な講演をして頂き、非常に充実した研修会であったと感じております。

### もくじ

- 1p 全国研修会報告
- 3p 身障だより
- 5p 精神科だより
- 7p 地域リハ委員会活動報告
- 9p 施設紹介
- 12p 理事会だより
- 14p 広告
- 17p 各種申請書変更のお知らせ・編集後記

山梨では2回目となります全国規模の研修会（昭和51年、第10回日本作業療法士学会）を無事に開催することができました。準備段階から当日の運営に携わった運営スタッフ（45名）の皆様、本当にお疲れ様でした。今回の研修会を通して、人の原点となる作業の奥深さと作業療法の可能性を感じ、多くの方々との出会い、そして繋がり、今後の作業療法の展開に大きく寄与する機会であったと感じております。引き続き、対象者の為に私たちの為に作業療法発展の道を共に歩んでいきましょう。



#### 広報局 企画編集部より

今回は参加されていた何名かの方にも感想を伺う事ができたので、その中からいくつか紹介させて頂きたいと思います。

村井さんのお話聞き入ってしまいました。今は学生の身ですので、作業療法士さんのお話を直接に聞くことができるのは大学以外ではあまりありません。今日の講義を聞いてより一層 OT になりたいという気持ちが増しました！貴重な講義ありがとうございました

普段はなかなか聞けない内容の講義を聴くことができ、興味深い二日間でした。勤務先に、今回の研修で得た内容を持ち帰り対象者様との関わりにかかしていきたいと思っております。

OT が必要なんだと確信をもてるのも、身体も精神もスピリチュアルも含めて、人を多方面から包括してみたいける専門家だからこそ感じるあつい何かなのかもしれませんね。でも、特別なものでも高等なものでもなく、普段の何気ない生活にあるものなんじゃないかと私は思います。日々進上、一生をかけて探求していける素晴らしい職業だと、この山梨大会で学生ながら感じました！ありがとうございます！

とても楽しい勉強になる2日間でした！！特にターミナルケアの講演には、自分の想いが救われました！！何より、参加してよかったのが、大学の同期・後輩・先生方と同じ環境で、再び勉強や時間を過ごすことができたことです！！この2日間で多く学んだ事を生かして、今日も臨床で楽しく仕事しています。

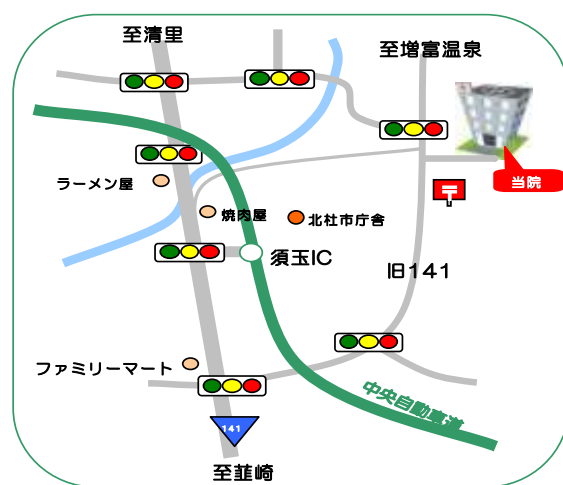
## 身障だより

北杜市立塩川病院  
中野渡 峰一

当院は昭和28年に開設され、それ以来、地域の病院として地域包括医療活動を展開しています。作業療法部門は平成21年5月より開設され、今年で3年目になりました。中央自動車道須玉ICから車で5分～10分程度、旧国道141号線沿いにあります。



～塩川病院～



～場所～

一般病棟54床、療養病床54床の計108床です。「忘己利他（もうこりた）」を病院の基本理念とし、日々患者様の為になればと関わらせて頂いています。

リハビリテーション室は1階にあり入院患者様だけではなく、外来・訪問リハビリにも携わらせて頂き、常勤PT：4名、OT：2名（現在1名は育児休暇中）、非常勤ST：1名が在籍しています。病室、格フロアーからは、富士山・南アルプス・ハケ岳の風景が一望できます。



～南アルプス～



～ハケ岳～

主な対象疾患は脳血管障害（廃用症候群含む）、整形外科疾患（骨折、五十肩、腱板損傷、脊髄損傷等）老年期障害など、急性期から回復期、維持期まで幅広く関わっています。患者様は地元の方がほとんどで80代と高齢な方が多く、現役で野菜や米などの農業を頑張っている



る方も多く見られます。退院後は自宅復帰が主ですが、近隣のリハビリテーション病院、施設へ転院・転所される方もいます。

当院は PT・OT が同じ訓練室で行っています。お互いの治療場面を確認することや、患者様の相談もすぐに行えることで、情報共有や連携しやすいことが特徴の 1 つになっています。

リハビリ室にある模擬住宅では、北杜市に多い昔ながらの日本家屋を想定した造り（玄関、和室への出入口に 2～3cm、縁側を想定した 40cm の段差）になっています。そこでは実践的な ADL 訓練はもとより、試験外泊前指導、退院時指導など幅広く活用することができます。

しかし、実際に自宅へ同うと訓練場面のようにはいかず、住宅改修や ADL 指導で悩んでしまうことが多々ありますが、ご家族のご理解・ご協力に助けて頂くこともあります。

また、介護保険サービスをまだ知らずにご家族が介護負担を抱えてしまっている方もいますので、サービス利用での関わりにも率先しております。



～リハビリ室～



～模擬住宅～

入院患者様は急性期から回復期、維持期と広い関わりの中で日々難しさを感じ、悩みながらも患者様の趣味・背景から手工芸などもとり入れたりしています。また自助具の紹介や作成など患者様に必要な福祉用具の提供、同居しているご家族への相談・介護支援なども行っています。外来患者様では農機具に手を挟まれた、転倒して手を骨折してしまった、最近、手があがらないなど整形外科に関わる方を対象に進めています。

峡北地域は作業療法士が少なく、開設当初、作業療法士と一緒に働いたことがない職員も多くいたため、まずは顔を覚えて頂き、仕事内容を理解してもらえよう働きかけてきました。今後は、地域における作業療法士としての役割と理解を深めていくことも、大きな課題の 1 つとして取り組んでいきたいと思ひます。

まだまだ分からないことも多く、皆様の力を借りることもあると思ひますが、少しでも患者様の笑顔を引き出し、喜びにつながるよう努力していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 精神科だより

### 「早期発見・早期介入」そして「支え続ける」こと

山梨県立こころの発達総合支援センター  
富士宮 秀紫

当センターは、平成 23 年 4 月に福祉プラザ内に開所した新しい機関です。こころの問題を抱えた子ども、発達の偏りや遅れなどのあるご本人やご家族、支援者の方々を支援する機関で、従前の「発達障害者支援センター」と「子どもメンタルクリニック」の機能を併せ持っています。職員体制は、精神科医師・保健師・精神保健福祉士・ケースワーカー・心理士・作業療法士が、2 スタッフ 3 チーム制による事業展開をしており、①『発達支援スタッフ』は幼児チームと成人チーム、②『子どものこころ支援スタッフ』は学齢チームとして、幼児期から成人期に至るまでライフサイクルに沿った対応をしています。OT は②の担当として配置されており、主に小中学生が対象となります。こうした、他職種が集まり医療と福祉が同一機関で備わっている点、普及啓発・研修を行うことにより地域の支援体制の充実を図っていく目的を持っている点など、この分野においては全国的にもまだ例の少ないセンターといえます。

平成 17 年に施行された発達障害者支援法のなかで定義されている“発達障害”は、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害とされており、私が学生時代に学んできた“発達障害”と比べると概念や障害像がかなり広がってきています。インターネットや書籍、メディア等で情報もあふれている中、専門機関の一員として、他職種の中の OT として、知識や技術が追いついていかないもどかしさを日々感じているのが正直なところですが、新たな気づきや学びもたくさんあります。

相談支援においては、原則 1 ケースに 2 人担当者がつきます。学齢期では、頭痛や腹痛などの身体化症状やいじめ・不登校、不安、抑うつ、学校内不適應といった二次障害、抜毛や緘黙、チック等の状態像への対応が主となりますが、ここでは生育歴・相談経緯の聞き取りが本人の理解を深めるためにとても大切になってきます。ベースに発達の特性はあるのか、どのような環境で養育されてきたのかといった情報が、今後の支援の方向づけに強く関わってくるからなのですが、ただ、本人以外の家族を含めたかなり踏み込んだ個人情報になります。なぜその情報が必要なのか、聞き取る意味を理解して自分の言葉で説明できなければ聞きにくい内容もあり、緊張の場面でもあります。経験や職種の異なるスタッフで担当することで、ケースを見立てる視点に厚みが出て、より専門性を発揮した対応を考えることにつながっているように感じています。また、教育機関との連携も自ずと増えてきますが、学校

訪問により集団参加の様子をみたり、関わる先生方とのやりとりで間接的にアプローチをしていくことが中心となります。

幼児期から成人期までとなると、市町村や幼稚園・保育所、児童相談所、医療機関、教育関係機関、就労支援関係機関、家族会等、多岐にわたる関係機関と関わることになるため、ケースに応じてより適切な資源を活用していけるように、担当チームの対象者だけでなく他のチームの支援にもアンテナを張って、生涯を通じた支援の流れがイメージできるように、というのがいつも心がけていることです。

広汎性発達障害の子どもたちは、特定の領域への興味関心や知識が高く、こだわりも強いと言われていますが、その才能の豊かさに驚かされるのが本当にたくさんあります。世界の国旗や恐竜の種類、歴史といった膨大な情報を蓄えている記憶力の高さ、緻密な計画を立てて実行する根気強さ、オリジナルの作品を作り上げる発想力の豊かさはこちらの想像を超えた、まさに圧巻の域です。グループ活動の場面で、好きなこと自慢と題して話をしてもらったり、好きな作業活動をしている時の表情はとても生き生きと輝いており、こうした自分の強みを生かして将来につなげられた時に発揮される能力は、計り知れないと感じさせられます。それとともに、強みを損なわずにいられるよう、特性や対応方法への理解者を増やし、環境を整えていく一端を担っているという自分たちの責任も同時に感じ、身の引き締まる思いです。

これまで培ってきた経験や人脈をさらに広げ、OT らしさがセンターに定着していけるように努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



(福祉プラザ)

## 就労支援グループの軌跡

就労支援グループ リーダー  
湯村温泉病院 小澤 真一

山梨県作業療法士会、地域リハビリテーション委員会就労支援グループ（以下、グループ）は平成 20 年より活動を開始し、身体障害、精神障害、発達障害領域で就労支援に興味をもっているメンバーで構成されています。当グループは「就労のニーズをもった当事者に対しどのような支援ができ、どのように他職種、他機関と連携していくことができるのか」といった疑問を皆でディスカッションしようと立ち上がったグループです。

今回、山梨県作業療法士会ニュースに当グループの活動経過及び、その中から示された作業療法士（以下、OT）が当事者の就労に貢献していく際に必要とされる役割を報告します。

### 平成 20 年度

- ・ 就労支援に関する法規の情報収集
- ・ 山梨県内の支援サービスの情報収集
- ・ 入院中から就労を支援した CVA 患者の事例報告
- ・ 精神科デイケアでの就労支援報告

### 平成 21 年度

- ・ 整形外科疾患の患者復職支援の事例検討
- ・ 就労支援関連の各種研修会伝達講習会
- ・ 研修会の開催 ～働くことを支援する作業療法～

### 平成 22 年度

- ・ 就労支援関連の各種研修会伝達講習会
- ・ 就労支援に OT が関与する際の課題の整理（KJ 法の実施）
- ・ 山梨県作業療法学会の発表準備

またこれまでの活動経過からグループメンバーで考えた「OT に必要とされる役割」として、①就労生活を送るための生活基盤を整える支援をすること、②就労時における作業の特性を分析・把握すること、③作業をするひとの肯定的側面を把握すること、④は②と③を企業（雇用主）、または関連機関に伝え当事者を結びつけること、⑤企業（雇用主）とその職場を支援すること、以上の内容が挙がりました。これは日本作業療法士協会が提起する評価と支援のポイント（2010）の「当事者を知る」「作業能力を知る」「環境を知る」に酷似しています（図1参照）。また「就労支援ってどのように実践すれば良いかわからない」と考える会員の方もいると思いますが、現在皆様の利用者様・患者様への関わりも就労支援に生きる部分があるのではないのでしょうか。（図2参照）。さらに OT が就労に貢献するために必要なこと



として①就労支援の知識・技術の獲得、②関連機関への広報活動やネットワーク作り・連携が必要になると考えます。

以上の考察から就労支援に先駆的に取り組んでいるグループメンバーや関連機関から情報を得るなど、情報収集の場としてグループを展開していくこと、会員への情報提供が今後のグループの役割だと見出すことができました。

今年度の活動では関連機関への情報収集やネットワーク作りとして施設見学を挙げており、高次脳機能障害者支援センターへの訪問、支援コーディネーターの方との座談会や、広報誌を活用した県士会員への情報提供など今年度の活動計画を実践中です。今後も前述したような活動をグループメンバーと協力しながら積極的に実践していき、会員の皆様が当事者と関わる上で就労支援で悩んだり、疑問に思うことがあれば気軽に相談していただけるようなグループを作りたいと考えております。ぜひ興味を持った会員の方はグループ活動へ気軽に参加してみてください。

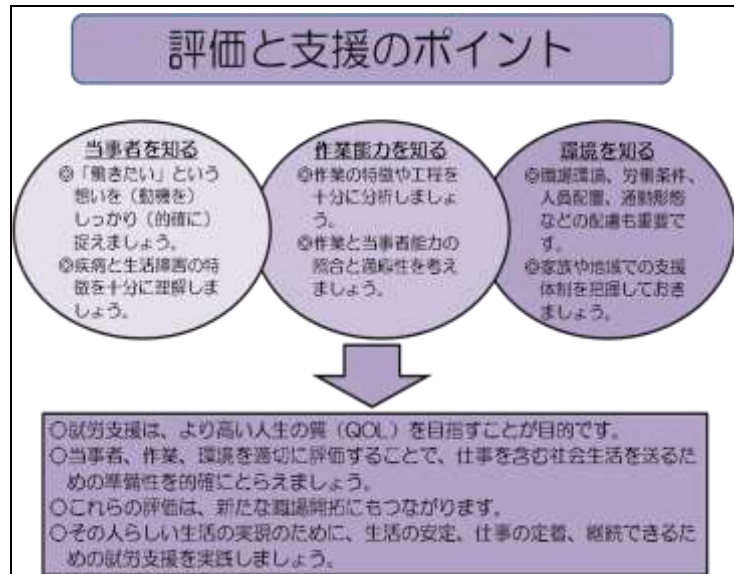


図1：評価と支援のポイント（2010）

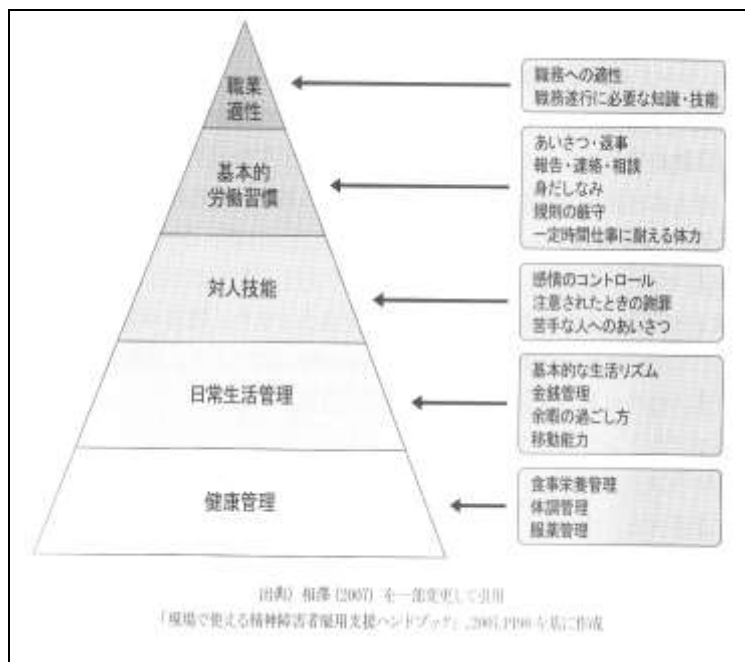


図2：職業ピラミッド

**連絡先**

湯村温泉病院 作業療法室 小澤 真一 TEL：055-251-6111  
 MAIL：ot-yumurahp@hken.jp



## 施設紹介

介護老人福祉施設 恵信ロジエ  
三品 宏晃



所在地：山梨県山梨市南1 335番地  
TEL 0553-20-1711  
FAX 0553-20-1712

開設：平成16年10月

### サービス内容

- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）  
50床（全室個室 一般40床）（認知症専門10床）
- 短期入所生活介護（ショートステイ）  
20床（全室個室 一般10床）（認知症専門10床）

- 通所介護（デイサービスセンター） 定員35名/日
- 居宅介護支援事業所（恵信サポートセンターロジエ）

### 基本理念

「ひとりひとりを大切に」

### 経営理念

「自分が入居したくなり、親を入居させたいという思いが込められています。そのため、当施設の居室は、全室個室で個人のプライバシーに配慮しており、介護サービスにつきましてもより個人に合った生活支援を提供していくよう努めております。」

笛吹川の清流、万力公園の緑、また鮮やかに咲き誇る桃の花。これらに囲まれた「恵信ロジエ」では、四季折々の自然を楽しむことができます。

「恵信ロジエ」の「ロジエ」には「人が住まう」という意味があり、一人ひとりの生活を大切にしていきたいという思いが込められています。そのため、当施設の居室は、全室個室で個人のプライバシーに配慮しており、介護サービスにつきましてもより個人に合った生活支援を提供していくよう努めております。



個室（洋室）



個室（和室）

当施設では、機能訓練指導員が2名（OT 1名・PT 1名）配置されており、主にデイサービスとショートステイの利用者に個別機能訓練を提供しています。訓練は筋力・体力の維持・向上を図りつつ、ADL動作能力の維持向上も目指す内容となっています。

ショートステイの個別機能訓練は今年の6月より実施しています。施設を利用している方の残存機能を活かした歩行や移乗、日常生活動作訓練（食事・更衣・排泄等）により、ADL能力の維持・向上を図る事ができます。さらに、精神機能面への働きかけも行い、やりがい・達成感・生きがいに繋がる作業活動を提供するとともに、その人に合った福祉用具の選定や生活環境の調整に関わることで、より快適な日常生活を送れるような支援をしています。また、家族からの介助方法に関する相談に応えることで、家族の身体的及び精神的負担の軽減に繋がることも目指しています。



デイサービスルーム



作業活動場面

デイサービスでは、年間を通じて季節ごとに大きな催し物を行っています。お花見ドライブ、夏祭り盆踊り大会、文化祭、クリスマス会など、四季折々の行事を開催し、利用者に季節観を感じてもらえる機会を作っています。大きな催しの際は準備から職員が一丸となり、本番では利用者と一緒に楽しんでいます。その時に利用者同士また、職員とのコミュニケーションがさらに深まり、利用者の新しい一面を発見することができます。その他、毎日行うレクリエーションはカラオケ・映画鑑賞・塗り絵・紙工作・おやつレクリエーション（季節に応じた物）などを実施しています。おやつレクは食べて頂くだけではなく、利用者が実際に食材を切ったり盛り付けたりと調理もしていただきます。

OTは個別機能訓練で作業活動も実施しています。季節に応じた寄せ植えや、花壇の水やり、また、ミニトマトなどの野菜をプランターで作ったりしています。手作業として紙工作等も行っています。作業活動を通じて利用者の笑顔がみられ、生きがいの支援も重要な役割だと感じています。また、個別機能訓練の他に集団で行う体操や歌等の集団レクリエーションも提供し、生活リズムにメリハリを作る役割も担っています。

その他、食事サービス時においても、入居者及び利用者の食事姿勢や、食事動作を専門職として評価し、施設内の専門委員会を通じ、職員に対して改善方法やその人にあった自助具の提案を行っています。

最後に、「ここでなんとなく生活していく」を「なるべく安楽で楽しく生活していく」へ変えていきたいと強く思っています。入居者及び利用者が安心して過ごしていける様に一人ひとりのQOL向上を目指し、OTとして力を注いでいきたいと考えています。その為の情報収集や知識の習得の為に、山梨県作業療法士協会主催の研修会等に積極的に参加させていただきますので、宜しくお願い致します。

＜よりよい作業療法を目指して!! part1＞	
テーマ	作業療法の質を向上するための講演
内容	各分野の専門の先生から作業療法を進める上で見落としやすい、間違えやすい評価や治療などを教示してもらい、根拠のある臨床を進めていけるような病態解釈やテクニックを身につける。
開催日	平成23年12月3日(土)13:30～4日(日)15:30
会場	中部大学55号館1階(〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200)
参加費	1日3,000円/両日5,000円
定員	200名
申込方法	下記、案内書をご参照ください。
申込締切	定員になるか11月下旬予定

## 理事会便り

長坂、宇野、青木、松田、工藤、磯野；  
12名

### 平成23年度6月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成23年6月13日(月)

会 場：山梨川北リハビリ病院 作業療法室

出席者：広田、古屋、三瀬、佐藤、長坂、宇野、  
青木、松田、工藤、関谷、磯野；11  
名

#### 1.事務局(三瀬)

1)全国訪問リハビリテーション振興会より、地域リーダー育成研修会の案内を受託。長坂 真由美(甲府城南病院)が参加予定。

2)日本作業療法士協会より、「第9回協会・都道府県士会合同役職者研修会」の案内を受託し、古屋 豊美 副会長(山梨厚生病院)、磯野 弘司 委員長(春日居川北リハビリ病院)が参加予定。

3)山梨県リハビリテーション病院施設協議会総会へ三瀬 和彦 事務局長(甲府城南病院)が出席。

4)東北地方太平洋沖大地震に対する義援金が、合計 454,800円となる(平成23年5月31日)。

#### 2.社会局(山田・宇野)

##### <厚生部>

1)新人転入者歓迎会を平成23年6月8日(水)に開催。参加者は194名(内 新人会員52名)。

#### 3.学術局(松田・青木・工藤)

##### <生涯教育部>

1)生涯教育新人説明会を平成23年6月8日(水)に開催。参加者は50名。

### 平成23年度7月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成23年7月12日(火)

会 場：山梨川北リハビリ病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、

#### 1.事務局(三瀬)

##### <財務部>

1)会員数500名に対し、会費未納入が44名。納付率は91.2%(平成23年7月11日現在)。

#### 2.社会局(宇野)

##### <事業部>

1)地域リハビリテーション従事者研修会に、飯野 知一(しらゆり訪問看護ステーション)が参加予定。

#### 3.学術局(松田・青木・工藤)

##### <生涯教育部>

1)平成23年6月20日(月)に、甲府城南病院にて現職者共通研修を開催。テーマは「作業療法生涯教育概論」、講師は山本伸一(山梨川北リハビリ病院)、参加者49名。

2)平成23年7月8日(金)に、健康科学大学にて現職者共通研修を開催。テーマは「作業療法における協業・後輩育成」、講師は中村雄(健康科学大学)、参加者58名。

#### 4.特設委員会(磯野)

##### <地域リハビリテーション委員会>

1)平成23年6月15日(水)に、大木記念ホールにて地域フォーラムを開催。

### 平成23年度8月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成23年8月11日(木)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、佐藤、関谷、  
長坂、宇野、工藤、磯野；10名

#### 1.副会長(広田・古屋)

1)平成23年7月30日(土)31日(日)に開催された都道府県合同役職者研修会に出席。



## 2.広報局(佐藤)

### <企画編集部>

- 1)平成23年7月14日(木)に、広報誌第77号を発送。

## 3.学術局(松田・青木・工藤)

### <生涯教育部>

- 1)平成23年7月25日(月)に、大木記念ホールにて現職者共通研修を開催。テーマは「職業倫理」、講師は関谷 宏美(甲州川北リハビリ病院)。参加人数は58名。

## 平成23年度9月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年9月14日(水)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；13名



## 1.事務局(三瀬)

- 1)日本作業療法士協会より、代議員選挙運営委員の推薦の依頼を受託。推薦：濱田一登志(山梨赤十字病院)
- 2)日本作業療法士協会より、生涯教育制度推進担当者の推薦の依頼を受託。推薦：青木栄一(学術局生涯教育部 担当理事)

### <福利部より>

- 1)団体保険更新  
今年度510名(役員14名、部・局員125名、会員371名)10,718時間180,440円

## 2.社会局(宇野)

### <事業部>

- 1)山交百貨店5Fにて、8月31日(水)から9月5日(月)に開催障害者文化展を開催。県士会から13人が参加(石和温泉病院・湯村温泉病院・竜王川北リハビリ病院・石和共立病院・春日居川北リハビリ病院・塩山市民病院・甲府城南病院)



SAKAIMed

急性期からの \*  
ハンドセラピーを  
お手伝いします。

\* スプリント \*

● 酒井医療株式会社  
西東京営業所  
Tel: 042-330-7621  
www.sakaimed.co.jp

**義肢装具をはじめ、車椅子、介護用品(入浴・排泄用品等)まで幅広くみなさんをサポートします。**

義肢装具

車いす

入浴用品

**取扱商品**

● 車椅子	● 歩行支援用具
● ベッド関係	● 日常生活機器
● 排泄用品	● 衣類
● おむつ	● 靴
● 自助具	● 杖
● 入浴補助用具	● 食事用品

**福祉用具のレンタルも行っていきます**

**販売店 イドセンタ-山梨**

川村義肢株式会社

山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188  
TEL 055(262)9630 FAX 055(262)0787

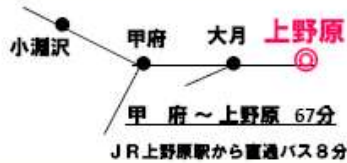
山梨県指定介護保険事業者  
(福祉用具貸与・販売・住宅改修)

# 医療科学部 作業療法学科

## 新しいコラボレーションに挑戦!!!



【上野原キャンパス】  
山梨県上野原市八ツ沢2525



いのちをまなぶキャンパス  
**帝京科学大学**

0120-248-089  
入試専用ダイヤル

新時代の医療・福祉・心理の専門家を目指して



2011年度  
オープンキャンパス日程

- 2011年  
7/23 (土)  
8/ 9 (土) 8/27 (土)  
9/11 (日)  
10/15 (土)  
2012年  
3/24 (土)



# 健康科学大学

<http://www.kenkoudai.ac.jp>

所在地：〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立7187 お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240



理学療法学科  
Department of Physical Therapy

作業療法学科  
Department of Occupational Therapy

福祉心理学科  
Department of Welfare and Psychology

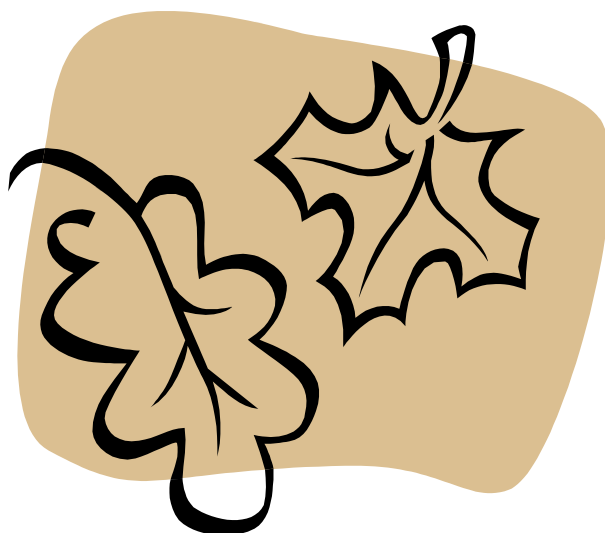
居宅介護支援、通所介護、訪問介護  
福祉用具貸与・販売、住宅改修

やさしさ・おもいやり・・・

**GC** (有) **グットケア**  
GoodCare, LTD

住吉本部 甲府市住吉4-6-24 TEL:055-236-6006  
＜事業所:朝気、東光寺、千塚＞

屋形調剤薬局(提携先)  
甲府市中央2-8-17 ☎055-223-3738



介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド  
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい・・・

**株 サンカイゴ**  
EST.1980 SunKaigo

中央店 中央市中橋91-1 ㉞:055-274-1152  
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 ㉞:055-251-2528





山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又は FAX にてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX : 055-241-8660 (代) TEL : 055-241-5811 (代)



編集後記

すでに風邪をひきました。こんなに体弱かったかなあ～(米)

友人から結婚報告を聞くことが多くなり、うれしい反面、もうそんな歳かと少し寂しくなるこの頃です(し)

風は少しずつ寒くなってきましたが、まだまだ海はアツイ!(つ)

寒さ対策、ヒーオテオクにレッグウォーマー、今年からはオシャレモモヒキが参入です!! どんと来い冬!!(内)

ディズニーシーは夢の国でした。タートルトークお勧めです(今)

職場でダイエットブームがありました。2カ月で85%のメンバーが目標達成!! 仲間のかってすごいなあ、と思いました(ふ)

今年の夏はあまり遊びに行くことができませんでした。この秋は外へ出かけるぞ!と意気込んだとたん捻挫しました。。(い)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香・今泉 隼・

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才 287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所：(株)島田プロセス 〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1534 TEL 055-233-8829